

防災だより

その47

防災専門官 野田^{のだ} 秀敏^{ひでとし}

地域の防災マップを作ろう

風水害や台風が年々、激甚化しています。昨年は、九州北部豪雨、房総半島台風(15号)や東日本台風(19号)で甚大な被害が発生しました。

こんな時、自分たちが住む地域の避難場所はどこ? 避難経路は? 危険な場所は? など、地域の防災情報を地域に住む皆さんで共有することは、自助・共助にとって非常に有効です。そこで今回は、地域の防災マップについて説明します。

市のハザードマップは、災害想定の外力と資源(避難所)などを示したもので、地域の防災マップは、皆さんがまち歩きをして、災害時に役に立つものや危険なものを書き込んだものです。

〇役立つもの

- ・地域の避難所
- ・災害時、利用できる店・施設

- ・災害時、安全に避難する経路
- ・避難生活で協力してくれる人

〇危険なもの

- ・危険な建物や施設(昭和56年以前の住宅や倉庫など)
- ・危険な場所(狭い道路、崖、冠水しやすい場所など)
- ・災害弱者に対策が必要なところ

地域防災マップの作り方

①地域の危険性について皆で話し合う

市のハザードマップや避難所一覧を参考に、避難する時にどんな危険があるかを話し合います。

②まち歩きをして危険箇所などを把握する。

まち歩き参加者を班分けし、歩く範囲を決めて、役に立つ場所、危険な場所などを調べ記録します。

③大きな地図で防災マップを作る

地図、マジック、メモを用意し、班ごとに記録結果を説明し、地図上に避難時に役立つ施設、危険箇所、避難経路などを書き込みます。

地域の防災マップづくりに多くの地域住民が参加することで、防災情報を共有できるだけでなく、地域の絆(コミュニケーション)も深まります。お住まいの地域の自主防災組織のリーダーと協力して、わが地域の防災マップを作成してみましよう。

災害時は、自分の命は自分

で守る「自助」と要配慮者など支援が必要な人たちを、地域で協力して支援する「共助」も大切です。

◀ 水城ヶ丘区の防災マップ



コミュニティ無線をととしてのJアラート試験放送を実施します 問い合わせ 防災安全課(内線 519・549)

緊急時にJアラート(全国瞬時警報システム)の情報がコミュニティ無線で正常に放送できるかを確認するため、全国一斉に実施される試験放送を本市においても下記の日程のとおり実施します。皆様のご理解とご協力をお願いします。

放送日時

令和2年5月20日(水) 午前11時
令和2年10月7日(水) 午前11時
令和3年2月17日(水) 午前11時

放送内容 「これは、Jアラートのテストです」を3回くりかえし放送し、「こちらは太宰府市です」を1回放送します。

※一斉訓練の状況に応じて、中止または延期される場合があります。

